

# MY TOP 3

同じ日本人でも仕事も趣味も十人十色。英国に住む日本人と日本に所縁のある人々に、さまざまなお題でトップ3を選んでもらいました。



とっとり ゆい  
十鳥 由比さん

アクラム・カーン・カンパニー、  
コミュニケーション・マネージャー

7月5日生まれ、東京都出身、ロンドン在住。日本で欧州ブランドの広告宣伝及びPRを担当。2009年春に渡英。同年9月より、シティ・ユニバーシティ・ロンドン大学大学院芸術学部文化政策学科に在学。10年2月より、ダンス・カンパニー「アクラム・カーン・カンパニー」でコミュニケーションを担当している。

## 「ロンドンのレストラン・バー」トップ3

### 1 Sketch (www.sketch.uk.com)

日本でPRや広告宣伝を担当していた際に、イベント運営によく携わっていました。恐らくその頃に癖になってしまったのだと思いますが、今でもレストランやバーを訪れると、イベントのヴェニューとしての利用価値を考えてしまいます。リージェント・ストリート近くにある豪華絢爛な内装のカフェ & バー「スケッチ」は、まさにイベントに打ってつけ。まず、エントランス・スペースの次にバーがあって、さら

にその奥に大きなレストラン・スペースが控えているという多層的な構造が好きです。さらに、トイレが大きな卵のオブジェの形をしていたり、上階には会員制のバーらしきものがあります。イベントに顔だけ出して、すぐ帰ってしまう人ってすごく多いですよ。でも、雰囲気異なる部屋がこれだけ揃ってれば、招待客を飽きさせることなく、イベントを進行させることができると思います。

### 2 Lounge Lover (www.lestroisgarcons.com)

ロンドン東部ショーディッチにあるバー & レストランです。駅や繁華街からは離れた不便な場所に位置しているのですが、それも狙いの一つではないかと思えます。第一に、現地在住者には倦厭されがちな観光客が来にくいですよ。またわざわざタクシーで乗り付けてくるような富裕層のみが訪れることができるような環境を作っている気もします。実際、ラウンジ・ラバーでは、ある程度きっちりとし

た服装をしなければ入れてくれないような雰囲気があって、店員の態度も、ときにちょっと高飛車。予約を取っていないと、空いているのに席に座らせてくれないなんてことがあります。しかし一度中に入ってしまうえば上質のサービスを提供してくれるので、あの高飛車ぶりも、特別感を出すための演出なのかなと。そうした客を選ぶような雰囲気が、招待客に優越感のようなものを与えるのかもしれない。

### 3 Bistrotheque (www.bistrotheque.com)

まさに隠れ家的な魅力を持つヴェニューです。ロンドン東部ハックニー地区の倉庫街みたいな一角にあるのですが、看板すら出ていないので、初めて訪れる人は、迷ってしまうかもしれません。ただ店内は、ちょっと物騒な周囲の雰囲気とは大違い。見た目をばっちりとした店員さんや、サブカル系のおしゃれな服を着こなしたお客がいっぱいいるんです。しかも、高級感がある割には、お酒も高くない。

1階がバーとキャバレーになっていて、2階がレストランという店の作りも素晴らしいと思います。さらに1階にあるステージは、スピーチやまたは特別ゲストを呼んでのパフォーマンスにも利用できますし。この辺りにはほかにバーやレストランがないので、一度店内に入ってしまうえば、「違うお店に移ってゆつくり飲もう」なんていうことが難しい。招待客は自ずとイベントに長居することになります。

## アクラム・カーン・カンパニー

ロンドン生まれのバングラデッシュ系英国人振付師であるアクラム・カーンをご存知でしょうか。西洋のコンテンポラリー・ダンスとインドの古典舞踊様式を融合させるという手法を用いることで知られる、英国を代表するコンテンポラリー・ダンサーの1人で、日本を含む世界各国で公演しています。現在、私はこのアクラム・カーンが立ち上げた「アクラム・カーン・カンパニー」で働いています。7月には、インド系英国人の音楽家ニティン・ソーニーとのコラボレーションを行う演目がロンドンのサドラーズ・ウェルズで披露される予定です。是非お越しください。

Akram Khan and  
Nitin Sawhney-Confluence  
7月20日(火)~24日(土)  
19:30  
チケット: £10~35  
Sadler's Wells Theatre  
Rosebery Avenue  
London EC1R 4TN  
Tel: 0844 412 4300  
www.sadlerswells.com  
www.akramkhancompany.net